
瀬戸

吉五郎

座間の生糸を世界へ

文

西條

かおり

山崎

聡子

能條

友子

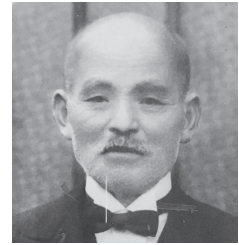
新井

つる子

絵

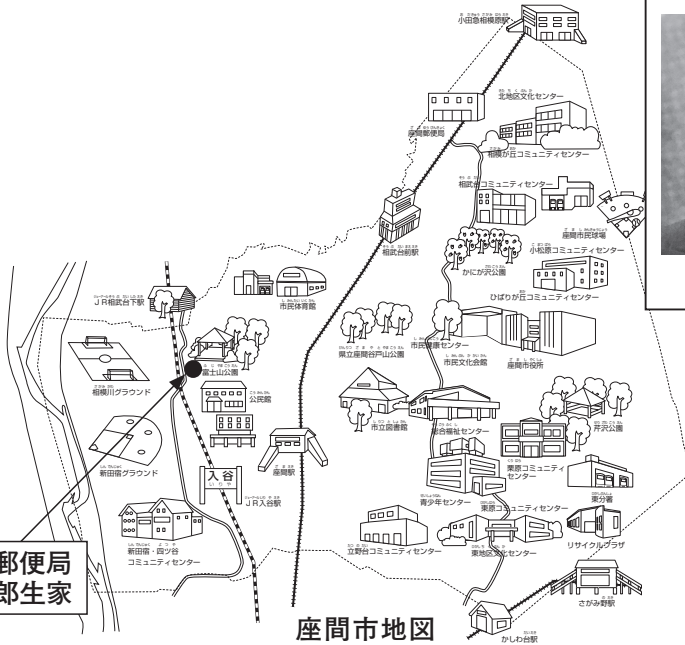
森田

恵理子



瀬戸吉五郎

座間中宿郵便局
瀬戸吉五郎生家



座間市地図

【文・絵 作者紹介】
西條かおり・山崎聡子・能條友子・新井つる子は、座間市内小中学校に勤務する教員である。市教育研究所の教育課題研究員として、瀬戸吉五郎に関する資料を調べ、今回の文章を執筆した。森田恵理子は、座間市内中学校の美術科の教員で、挿絵を担当した。

西暦	和暦	年齢	できごと	時代背景
一八六八年	明治元年	0歳	十月四日 座間村中宿に生まれる。	一八七二年 学制発布
一八八一年	明治十四年	13歳	尋常小学校上等小学科を卒業。	一八八九年 五つの村が集まり、座間村となる。
一八八三年	明治十六年	15歳	小学校助教員となる。	一八九四年 日清戦争
一八八七年	明治二十年	19歳	家督を継ぐ。	一八九五年 座間小学校開校
一八八九年	明治二十二年	21歳	学務委員を務める。	一九〇四年 日露戦争
一八九九年	明治三十二年	31歳	自宅に郵便局を開業する。	一九一四年 第一次世界大戦
一九〇六年	明治三十九年	38歳	蚕種製造所「精業館」設立。	
一九一七年	大正六年	49歳	村会議員となる	一九二三年 関東大震災
一九二九年	昭和四年	61歳	郵便局内に「座間電話局」を開局する。	一九三七年 座間村から座間町となる。
一九四四年	昭和十九年	77歳	三月十六日、亡くなる。	一九三九年 第二次世界大戦



かつて座間では、どの農家でも、「シャーシャー」と、小雨の降るような音が聞こえていました。これは何万匹もの蚕が桑の葉を食べる音です。

蚕が蛹になるときに作る繭からは、生糸がとれ、高価な絹糸の材料になります。

明治から昭和の初めにかけて、日本はたくさん
の生糸を生産し、世界に輸出していました。
座間でも、よい蚕を育てて生糸の生産を高めようと力を尽くした人々がいました。その中の一人がこの物語の主人公、瀬戸吉五郎です。

吉五郎の生い立ち

瀬戸吉五郎は、明治元年（1868年）十月四日、座間村座間中宿（現在

蚕
カイコガという蛾の幼虫

絹糸
絹糸は、綿や麻と違って、軽く光沢があり、肌触りが良い。また、夏は涼しく、冬は暖かい特徴がある。成人の日などに着られる着物やネクタイに使われている。

の座間一丁目)で、父喜三郎きさぶろう、母しげのあいだに、七人兄弟の長男として産まれました。

吉五郎の父は、座間宿村しゆくむらの名主なぬしを務めた人で、農業を営み、養蚕ようさんも行っていました。教育にも熱心で、明治時代に学制が公布されると、座間小学校のもとになった「風牛学舎ふうぎゅうがくしゃ」を設立し、運営する中心的な役割をはたしました。

この頃は、多くの子どもたちが家の手伝いをしていました。吉五郎も、蚕かいこの世話をし、兄弟の面倒を見ながら学校に通っていました。

明治時代初めの小学校では、進級や卒業の際には試験がありました。吉五郎は忙しい中、一生懸命に勉強して、難しい試験に合格し、座間村学校じやうとらう上等小学を卒業しました。

吉五郎は、卒業後も、農業のかたわら一人で勉強を続け、十五歳のとき、母校の座間村学校で助教員じよきょういんとして教壇きやうだんに立ったのです。二十一歳の時には、学務委員がくむいじんも務めつとました。

名主
町や村を治める仕事をした人。

学制
明治五年(1872年)に発布された日本最初の近代的学校制度を定めた教育法令。

風牛学舎
「風牛学舎」は「座間学校」と「座間村学校」に分かれた。喜三郎は「座間村学校」に関わり、吉五郎もそこに通っていた。

学務委員
子どもたちが学校に通えるように、市町村長に意見を述べ、環境を整えた人。

近代化を支えた養蚕ようざん

養蚕は江戸時代から各地で盛んでした。座間でも、栗原村の歴史資料に、養蚕が村の主要産業であったことが書かれています。

幕末には、横浜港が開港され、外国との貿易ぼうえきが始まり、生糸と茶葉が主な輸出品となりました。このころヨーロッパでは、蚕の病気が広がっていて、生糸の生産が激減しました。そのような中、日本の生糸は欧米に盛んに輸出されました。生糸は、日本でも外国でも高級な服を作る上では欠かせないものだったのです。

良い生糸の製造をめざして

吉五郎の家では、江戸時代から蚕かいこを飼うだけだけでなく、蚕種ざんしゆ（蚕の卵）が産み付けられた



種紙

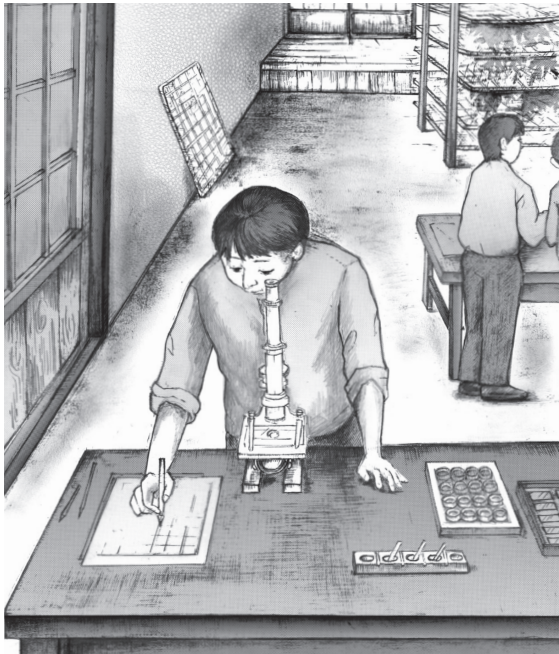
歴史資料
「栗原村村鑑」(1701年)のこと。
当時の村の様子が記されている。

「種紙」^{たねがみ}を販売する種屋^{たねや}を営んでいました。種紙は、主に長野県などから仕入れていました。しかし、仕入れた種紙から孵^{かえ}った蚕の中には、病気になりやすいものもありました。種紙の蚕種に少しでも病気の原因があれば、養蚕は続けることができません。種紙を売った種屋としては責任重大です。

明治二十年（1887年）ころ、「座間でも、生糸をもっと良くして、世界に売っていかう！」と考えた人々が協力して組合や会社を作りました。その頃、家を継いで種屋の仕事を始めた吉五郎は、積極的に参加し、新しい蚕の飼育方を仲間とともに学びました。

また、蚕の病気を見つげるために、顕微鏡を使う最新の技術も学びました。そのような活動を続ける中で、吉

五郎は



組合や会社
「高座郡北部蚕糸組合」
という組織や「光明社」
という会社を作られた。

「良い生糸を製造するために、自分で良い蚕種をつくりたい。」
と思うようになりました。

座間ブランドの誕生と発展

明治三十九年（1906年）、吉五郎は、今までの成果を生かして、「精業館」という蚕種製造所を始めました。

「病気にならず良い生糸をつくる蚕は、どうしたらできるのか・・・」

と考えた吉五郎は、たくさんの違う種類の蚕をかけ合わせる実験を何度もくりかえしました。

そして、とうとう吉五郎は、病気になりにくく、品質の良い生糸をつくる蚕をつくり出すことに成功しました。いわば「座間ブランド」蚕種の



精業館の写真中段の2人が吉五郎夫妻

座間ブランド
「座間」という商標がつけられて世界に生糸が売られていた。

誕生です。

精業館では、常に最新の情報と技術を取り入れ、研究や実験を行いました。神奈川県神奈川県の厳しい検査に合格するだけでなく、神奈川県から表彰されるほどの品質が高い蚕種蚕種をつくりました。そして、精業館は県内で、一、二位を争うほど大きな蚕種製造所になりました。

仲間たちも、吉五郎にならない、次々と蚕種製造所を作っていました。

その結果、蚕種の質が上がり、「座間の蚕種さんしゅは優秀品質の折り紙つき」といわれるほどになりました。

各地の養蚕組合ようさんは安心して座間の蚕種を予約購入しました。座間全体が養蚕によって豊かになっていったのです。

吉五郎は、「神奈川県蚕種製造同業組合さんしゅせいぞうどうぎょう」の



蚕種賞状

評議員ひょうぎいんも務め、座間市のみならず、神奈川県
の蚕種製造業の発展に尽くしました。

明治四十二年（1909年）には、日本の
生糸の輸出量は中国を抜いて世界第一位とな
りました。生糸の輸出で得た資金は、外国の
機械や技術を導入することに役立ち、日本の
近代化を支えました。養蚕技術の発展は、国
や県などの組織だけでなく、吉五郎のように
養蚕業に携わり、自ら研究を重ねた人々の手によって担になわれたのです。

村の人々のために

明治三十二年（1899年）、吉五郎は、逋ていしんしょう信省の指示により、座間郵便局
（現座間中宿郵便局なかじゆく）を開局しました。はじめは蚕種製造業が多忙のため断つ



蚕種製造同業組員

逋信省
もと内閣各省の一つ。
一九四九年郵政省と電気
通信省とに分れて廃止。



郵便局・電話局

たものの、役場から

「吉五郎さんに代わる人はいないので、ぜひ頼む。」
といわれて引き受けました。そして、自宅の一部を
郵便局として提供しました。後に郵便局内に座間電
話局を開局し、郵便局・電話局の局長として仕事に
励みました。

やがて大正時代になると、吉五郎は、ぶらくちよう部落長や村会議員に選ばれ、さらに
地域の発展のために尽くすことになります。

その頃、座間村には「ろくどうざか六道坂」と呼ばれる急坂がありました。この坂は深
い谷に沿って、大きく曲がり、幅も狭くて大変に危険でした。農家の馬が
にくるま荷車もろとも谷底に転落した事故もあつたくらいです。

そこで、部落長だった吉五郎は、人々を集め、自らも率先して働き、坂道
を大きく改造して、みんなが安全に通れるようにしました。

六道坂

今の平和坂。座間1丁目
座間公園の入り口の坂。

吉五郎は昭和十九年（1944年）三月十六日、七十七歳で亡くなりました。その前の月、二月二十二日に亡くなった奥様のヨシさんの後を追うようでした。晩年の吉五郎を知る人々は「とにかく夫婦仲がよかった。」と語っています。

【参考・引用文献】

座間市語り伝え聴き取り調査団・図書館市史編さん係「座間の語り伝え―生業業―」

「座間の語り伝え―交通・交易・住居編―」

座間市教育委員会「座間市史5 通史編（上）」

座間市教育委員会「座間むかしむかし」第6集・第41集

小泉勝夫「蚕糸王国日本と神奈川の顛末」〔2006〕一般財団法人シルクセンター

国際貿易観光会館

座間小学校創立百周年記念事業実行委員会「座間小学校創立百周年記念誌」

瀬戸一孝氏・瀬戸宏孝氏インタビュー

【学校系統図】

